

調達件名 2024-2027年度JICA海外協力隊募集関連業務

公告日： 2024年9月6日

調達管理番号： 24a00566

入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
国際協力調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 17	(2)1(ア)会場型募集説明会：	「三大都市圏（東京、大阪、名古屋）」とあるが、圏域を指しているのか。	圏域を指しています。東京、名古屋、大阪での開催を想定していますが、圏域内での開催となる可能性もあります。
2	P. 17	(2)1(イ)オンライン型募集説明会：	仕様書には「募集期間中は全国を対象として毎週一回以上開催する」とあり、別紙見積内訳には「募集期のオンライン説明会」として「18回」が記されている。現職教員特別参加制度（春募集期のみ）と短期派遣（年2回募集）については、この18回には含まないという理解で宜しいか。	現職教員特別参加制度（春募集期のみ）と短期派遣（年2回募集）については、この18回には含まれません。
3	P. 17	(2)1(イ)オンライン型募集説明会：	仕様書には「年間を通して50回以上実施する」とあるが、見積内訳(2)応募促進業務費「募集期のオンライン説明会」は18回×2回で年間36回、「募集期外のオンライン説明会」は24回×1回で年間24回で合計60回となっている。いずれの回数が正しいか。	年間合計60回として積算してください。(2)1に記載のとおり、実施回数に関しては、春募集期の応募者数の結果等をもって、秋募集の実施規模を検討していくため、実際の実施回数は変動の可能性があります。少なくとも年間50回以上開催していただきます。
4	P18	(3)国内拠点や国際協力推進員からの業務依頼対応	「想定される依頼業務の種別と回数は以下のとおり」とあり、「(ア)説明会（相談会）」、「(イ)イベント」の記載がある。他方、別添9の業務依頼書では協力隊セミナーという種別がある。全国で200回以上行う協力隊セミナーに加え業務依頼によるセミナーがあるという理解で宜しいか（※セミナーの項には「なお、計画策定の際には、各所管国内拠点（別添7-3）と調整すること」とある。）	受注者が全国で200回以上行う協力隊セミナーと、国内拠点及び国際協力推進員からの業務依頼への対応は別の業務です。後者の業務依頼内容によっては、セミナーに類似したイベントを実施いただく可能性もあります（イベントとしてカウントします）。いずれにせよ、セミナーを計画策定する際は、各所管国内拠点と十分ご相談いただくようお願いいたします。
5	別紙	見積様式	2024年度には「会場費、謝金等」の経費が計上されていないが、2025年春募集説明会にかかる経費が発生した場合、精算はどのように行われるか。	計画・実績に応じて、2025年度分の「会場費、0V謝金等」の経費から精算できるように機構側で調整します。（説明会の実施については2025年3月以降を想定していますので、証憑を添付した上での報告は2025年度第1四半期以降と見込まれます。そのため「2025年度分の会場費、0V謝金等」からの精算を想定しています。）
6	別添10	業務単価表	対象者の人数規模が6つに区分されているが、人数区分ごとに単価を設定することで宜しいか。見積内訳にはどの単価を使えばよいか。	別添10「業務単価表」の通り、業務人件費は、対象者及び人数の区分ごとではなく、一律で設定をお願いします。なお、見積内訳に記入いただく際は、以下の規模（参加者）・配置人数及び時間を想定して、1回分の開催単価を計上してください。 説明会（相談会） 規模：21人～30人規模 配置人数：3名 時間：8時間 イベント 規模：41～50人規模 配置人数：6名 時間：12時間